

1 自殺者数の推移

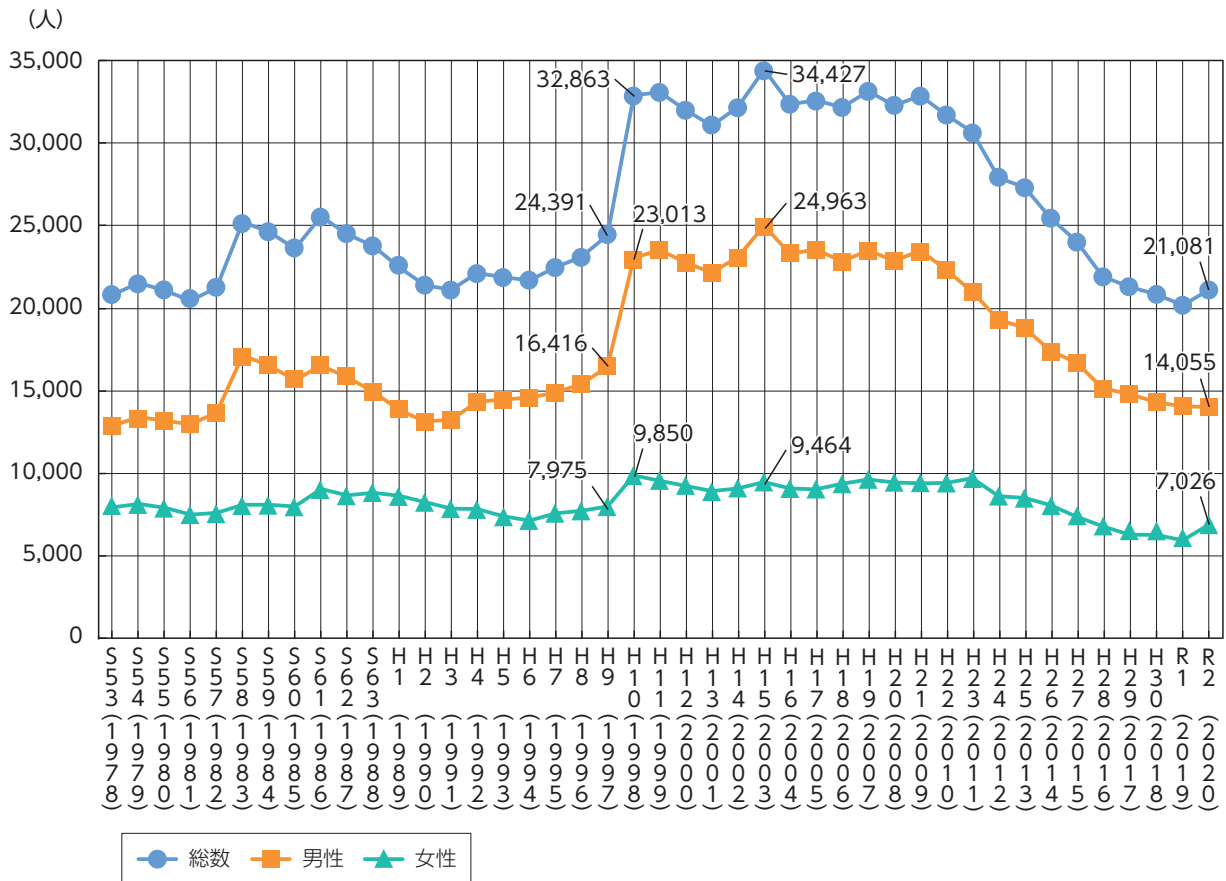
(1) 警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移

警察庁の自殺統計原票を集計した結果（以下「自殺統計」という。）によれば（第1-1図）、我が国の自殺者数は、昭和58年及び61年に2万5千人を超えたものの、平成3年の2万1,084人まで減少し、その後2万人台前半で推移していた。しかし、10年に前年の2万4,391人から8,472人（34.7%）増加の3万

2,863人となり、15年には統計を取り始めた昭和53年以降で最多の3万4,427人となった。

その後、3万2千人から3万3千人台で推移した後、平成22年以降は10年連続で減少し、令和元年は2万169人で昭和53年の統計開始以来最少となったが、2年は2万1,081人と、前年に比べ912人（4.5%）増加した。男女別に見ると、男性は11年連続で減少したが、女性は2年ぶりの増加となった。

第1-1図 自殺者数の推移（自殺統計）



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

(2) 厚生労働省の人口動態統計に基づく 自殺者数の推移

同様に、厚生労働省の人口動態統計¹による自殺者数の推移をみると（第1-2図）、昭和58年に2万4,985人に増加し、61年の2万5,667人をピークとした後、平成3年に1万

9,875人まで減少したものの、10年に前年の2万3,494人から8,261人（35.2%）増加の3万1,755人となって以降は、3万人前後の状態が続いていたが、22年以降は減少を続け、令和元年は1万9,425人となった。

第1-2図 自殺者数の推移（人口動態統計）

